



## 生ゴミ処理機 (電子レンジ式)

2006年4月から  
「食品リサイクル法」施行  
により、飲食関係の事業所は  
生ゴミ20%の減量が  
必要になります。

TERAL

# 業務用生ゴミ処理機のご提案

小規模店舗向け

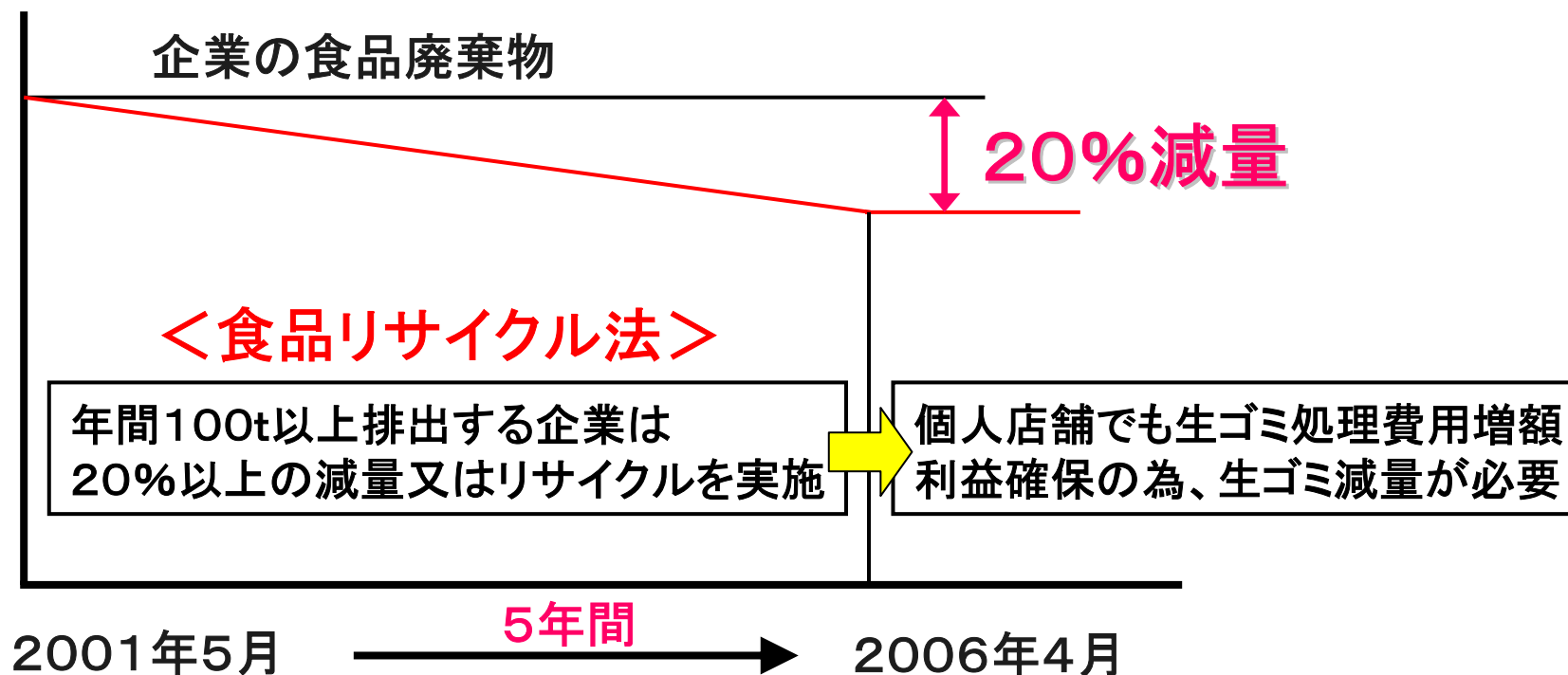


食品リサイクル法  
ISO14001 対応

**電子レンジ式生ゴミ処理機**

# はじめに

- ・近年、廃棄物処理を巡る状況は深刻化し、環境への負荷は社会問題
- ・まずは食品廃棄物の減量化実施が必要



# 生ゴミのリサイクルの流れ

1. 一次処理の方法を間違えると二次処理は困難
  - ・バイオ方式や炭化方式では、リサイクル不可
  - ・収集、運搬、保存・減量を考慮し……**乾燥型**

2. 二次加工業者の選定
  - ・業者数は希少
  - ・処理費用が高価で経済合理性が不整合
  - ・肥料に出来ない？……**飼料化**

3. リサイクル品の需要は
  - ・農協、肥料会社、飼料会社など



リサイクル当初……処理物は一般廃棄物として処理

# 生ゴミ減量方法の選定要件

・各企業、店舗は、生ゴミの減量化で、その処理法を選定

・特に重視される点は……………

1. 減量方法が最終的にリサイクル可能か

2. 自身の店舗、食堂などに適合可能か

☆ 処理機、処理費用(経済合理性に優れる)

☆ 処理方法

☆ 設置場所

☆ 処理物の二次処理の可能性



# 店舗営業政策

## ◎ 環境にやさしいお店づくり.....

☆生ゴミを処理し、外に出しません

☆新たな考えで生ゴミを処理

☆環境にやさしい店の目玉

◎そして、利益を創生する生ゴミ処理機！

「電子レンジ式生ゴミ処理機は」、皆様のお店に  
**最適な生ゴミ処理機** です。

# 電子レンジ式生ゴミ処理機のご提案

食品リサイクル法、ISO14001の対応として

「電子レンジ式生ゴミ処理機」をご提案します。

- ◎ 電子レンジ乾燥システムで減量率20%を超える効果
- ◎ コストに厳しいコンビニ店で経済合理性に優れ
- ◎ 食品廃棄物の高速処理で悪臭を排除
- ◎ 同クラス最小機で省スペース
- ◎ ワンタッチによる簡単処理

食品廃棄物残渣の一次処理用機器として最適です。



JM-500型

# 設置方法



☆バックヤード内の幅60cmのスペースに設置可能です。

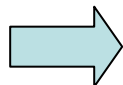
☆排気は直接や換気扇に行いますので、事務所内にも設置できます。



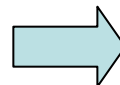
# 簡単ワンタッチ処理



① 分別して容器へ



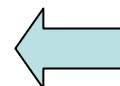
② 容器を挿入



③ 蓋をして









④ スイッチ投入



⑤ 出来上がり

# 生ゴミ処理に関わる費用

	一般生ゴミ	残飯	野菜(キャベツ)
投入時	 <p>3.7kg(約10ℓ)</p>	 <p>5.22kg(約10ℓ)</p>	 <p>3.16kg(約10ℓ)</p>
乾燥後	<p>減量90% 減容85%</p>  <p>0.34kg(約1.5ℓ)</p>	<p>減量80% 減容80%</p>  <p>1.06kg(約2ℓ)</p>	<p>減量88% 減容85%</p>  <p>0.38kg(約1.5ℓ)</p>
乾燥時間 (冷却を含む)	1h 33mim	2h 31min	1h 31mim
運転時の消費電力(kW)	約1.98	約1.95	約2.08
処理単価(¥/kg) (電力単価¥23/kWhとして)	18.3	21.1	22.0

(処理単価は、生ゴミの種類や水分量によって異なります)